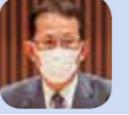


地方分散型社会の推進

奥野 英介 議員
(草莽)
(伊勢市選出)



問 人口減少と高齢化が進んでいく中、基本的な行政サービスは水

平展開するためには、都市や地域をコンパクト化する必要があるのではないのでしょうか。

答 県は令和4年度から新たに「人口減少対策課」を設置し、人口減少対策のさらなる強化を図っていく方針を示していますが、地方分散型社会の実現は念頭にあるのか、知事の考えをお聞かせください。

人口減少のさまざまな課題に対応するために地域のコンパクト化を進めることは、日本全体の大きな課題である認識をしています。



SDGs 目標 11 「住み続けられるまちづくりを」

一方で、住み慣れた地域に住み続けたいという方の気持ちも大切にしなければなりません。県としては、今後、人口減少が進む中で地域の在り方について、市町とも連携しながら具体策を検討していきたいです。

その他の質問事項

○② 地籍調査について

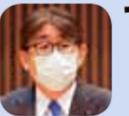
○身の丈に合った予算・財政運営について
ほか



▲一般質問 (奥野英介 議員)

戦略的な観光マーケティングについて

川口 円 議員
(新政みえ)
(津市選出)



問 観光業は、新型コロナウイルスの感染拡大により極めて大きな打撃を受けており、集中的な対策が必要な分野であります。

そこで、三重県が進める戦略的な観光マーケティングについて、どのような仕組みを確立していくのか、人材育成や観光マーケティングのプラットフォームの構築など、県民の皆さまへの周知も含めお聞かせください。



三重県観光シンボルマーク

答 令和3年度はマーケティングに必要な旅行者データを把握し、旅行者ニーズに沿った情報を発信する仕組みを備えた三重県観光マーケティングプラットフォームを構築しています。今後はこの仕組みを利用いただけるよう、三重県観光連盟公式サイト「観光三重」を通じて県内外に周知するほか、観光事業者等を対象に研修等を実施していきたいです。

問 令和3年度はマーケティングに必要な旅行者データを把握し、旅行者ニーズに沿った情報を発信する仕組みを備えた三重県観光マーケティングプラットフォームを構築しています。

今後はこの仕組みを利用いただけるよう、三重県観光連盟公式サイト「観光三重」を通じて県内外に周知するほか、観光事業者等を対象に研修等を実施していきたいです。

その他の質問事項

○事業者の方への協力金・支援金等について

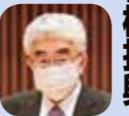
○新型コロナウイルス感染症の後遺症に対する対応について
ほか



▲一般質問 (川口 円 議員)

全国カンキツ研究大会を契機とした柑橘振興

西場 信行 議員
(自由民主党)
(多気郡選出)



問 県内の柑橘産地では、生産者の高齢化や担い手の減少により、生産量が減少しています。

このような中、令和5年度に「全国カンキツ研究大会」が三重県で開催される予定であり、本大会を契機とした柑橘生産の発展が期待されますが、本大会の開催テーマと今後の柑橘生産の課題への取り組みについてお聞かせください。

答 本大会では、柑橘産地の課題を踏まえ「省力化に向けたスマート技術の導入」と「需要に応じた売れる商品づくり」をテーマに設定する予定です。大会の開催に向け、財政面と人材面の支援を行い、開催後は、全国の柑橘主産県の取り組みの取組や知見を生かして、スマート技術の導入に向けた園地整備や販路戦略の強化に取り組みます。



種阜生温州みかん「みえ紀南1号」

本大会では、柑橘産地の課題を踏まえ「省力化に向けたスマート技術の導入」と「需要に応じた売れる商品づくり」をテーマに設定する予定です。大会の開催に向け、財政面と人材面の支援を行い、開催後は、全国の柑橘主産県の取り組みの取組や知見を生かして、スマート技術の導入に向けた園地整備や販路戦略の強化に取り組みます。

その他の質問事項

○伊勢茶振興計画

○伊勢商人の歴史をふまえた三重テラスの運営と松阪木綿振興
ほか



▲一般質問 (西場信行 議員)

次期県立高等学校活性化計画(案)について

藤根 正典 議員
(新政みえ)
(熊野市・南牟婁郡選出)



問 現在策定中の次期県立高等学校活性化計画案では「1学年3学

級以下の高等学校は統合について協議も行うこととする」として



「統合」として実施するにあたっては、地域との関わりを大切に、慎重に進めていただきたいと思えますが県の考えをお聞かせください。

答 次期活性化計画を推進するにあたっては、これまで取り組んできた「地域を学び場とした教育」の考え方や、これまで培ってきた高校と地域との関係性を大事にしていくべきだと考えています。統合という結論ありきではなく、地域の実情や地域の方々の意見を大切にしながら、それぞれの地域協議会で丁寧な協議を進めていきます。

問 現在策定中の次期県立高等学校活性化計画案では「1学年3学級以下の高等学校は統合について協議も行うこととする」として

「統合」として実施するにあたっては、地域との関わりを大切に、慎重に進めていただきたいと思えますが県の考えをお聞かせください。

その他の質問事項

○持続可能な地域づくりに向けて

○持続可能な地域づくりに向けて
三重の農業振興について
ほか



▲一般質問 (藤根正典 議員)

農林水産高校の実習設備の拡充について

前野 和美 議員
(自由民主党)
(津市選出)



問 近年の施設園芸はIT化が進み、自動給水、自動施肥はもとより、空調管理まで自動でできるシステムが整っています。

そのような中、教育現場においてもA1等の進展に伴うスマート農業の実践を踏まえた教育が必要であり、そのための実習施設の更新も重要であると考えます。

答 県内の農業高校では、令和2年度から国の事業も活用し、新しい技術を取り入れた施設や設備の更新を進めており、それらの設備等を活用して、スマート農業に関する知識や技術などを、より実践的に学ぶことができるようになってきています。今後各県の施設等の状況を把握しながら必要な対応を行ってまいります。



そのような中、教育現場においてもA1等の進展に伴うスマート農業の実践を踏まえた教育が必要であり、そのための実習施設の更新も重要であると考えます。

その他の質問事項

○担い手への農地集積に向けた基盤整備について

○教職員のスキルアップと生徒の専門性を高める取り組みについて
ほか



▲一般質問 (前野和美 議員)

子ども医療費助成制度の充実について

森野 真治 議員
(新政みえ)
(伊賀市選出)



問 県は、市町が行う医療費助成事業に対して補助する制度を設けています

が、その制度の対象年齢を12歳までに引き上げてから間もなく10年になります。県内の市町が行う医療費助成の対象年齢は、全国と比べて低い状況にあります。県事業の対象年齢の拡大や所得制限の撤廃により、市町事業の充実を図るべきではないかと思えますが、知事の考えをお聞かせください。



県は、市町が行う医療費助成事業に対して補助する制度を設けています。が、その制度の対象年齢を12歳までに引き上げてから間もなく10年になります。県内の市町が行う医療費助成の対象年齢は、全国と比べて低い状況にあります。県事業の対象年齢の拡大や所得制限の撤廃により、市町事業の充実を図るべきではないかと思えますが、知事の考えをお聞かせください。

答 人口減少対策において、子育て世代への支援は非常に重要です。対象年齢だけで比較はできませんが、本県が選ばれる地域になるためには、医療費助成制度の充実も取り組みのひとつと考えています。体制を整え、どのような制度が一番良いのかを、県の財政状況も踏まえて、総合的に考えていきたいと思っています。

問 県は、市町が行う医療費助成事業に対して補助する制度を設けています

が、その制度の対象年齢を12歳までに引き上げてから間もなく10年になります。県内の市町が行う医療費助成の対象年齢は、全国と比べて低い状況にあります。県事業の対象年齢の拡大や所得制限の撤廃により、市町事業の充実を図るべきではないかと思えますが、知事の考えをお聞かせください。

その他の質問事項

○防災減災対策の推進について

○獣害対策について
ほか



▲一般質問 (森野真治 議員)

地域公共交通政策について

田中 祐治 議員
(自由民主党)
(松阪市選出)



問 令和2年11月に改正された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」では、地方公共団体は「地域公共交通計画」を策定し、交通事業者をはじめとする地域の関係者と協議しながら持続可能な運送サービスの提供を確保することとしています。

計画の作成は努力義務となっておりますが、県はどのように対応するのをお聞かせください。

答 県では、多様な輸送資源による新たな交通に関する方向性を示したマスタープラン「地域公共交通計画」を令和5年度に作成する予定です。計画の作成にあたっては、さまざまな立場の方が参加する、三重県地域公共交通協議会(仮称)を設立し、幅広く意見をいただきながら、今後の地域公共交通の在り方を検討していきたいです。

問 令和2年11月に改正された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」では、地方公共団体は「地域公共交通計画」を策定し、交通事業者をはじめとする地域の関係者と協議しながら持続可能な運送サービスの提供を確保することとしています。

計画の作成は努力義務となっておりますが、県はどのように対応するのをお聞かせください。

その他の質問事項

○ウッドショックをどう捉えるか

○農業者支援について
ほか



▲一般質問 (田中祐治 議員)